

研究に関するお知らせ (第 2.0.0 版)

(研究の名称：院内肝炎ウイルス陽性者の実態調査)

2021 年 月 日

岐阜大学医学部附属病院第 1 内科では、下記の研究を行うことを計画しています。この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。もし、この研究への参加を希望されない場合には、対象とはいたしませんので、お問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■ 研究の概要

肝臓がんの殆どがウイルス性肝炎を合併しています。病院では手術や入院時に肝炎ウイルス検査を行うことが多く、陽性者は院内の受診勧奨システムにより専門医への紹介を促す試みがなされています。当院でも2014年より受診勧奨を行っており、その実態を調査することにより、適切な診療を行う根拠を確立することを目指します。研究期間は2018年8月1日から2026年3月31日までです。

■ 研究の対象となる方

2014年4月～2023年3月までに当院消化器内科以外で肝炎ウイルス (B型・C型肝炎ウイルス)検査を受け、陽性と判定された方

■ ご協力頂く内容

診療録に記録された診療情報 (年齢、性別、主病名、過去肝炎ウイルス検査施行の有無、受診状況 [専門医・非専門医等] 及び院内専門医への紹介数 [率] ・受療率、紹介できない理由等) を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報 は 厳重に保護した状態で行います。この研究のために、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■ 研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き・手続きにかかる手数料

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧にいただくことや文章でお渡しすることができます。ご希望される方は、記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ 個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

■ お問い合わせ先

岐阜大学医学部附属病院 第 1 内科 准教授 末次 淳

〒501-1194 岐阜市柳戸 1 番 1 TEL 058-230-6308 FAX 058-230-6310

■ 研究責任者

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター

肝疾患研修室長 是永匡紹 (これながまさあき) TEL 047-372-3501 (1423)